

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のご願い-

現在、血液内科では、以前に「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われる場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 膠原病合併患者における同種造血幹細胞移植成績の検討：日本における造血細胞移植登録一元管理プログラム(TRUMP®)レジストリデータによる後方視的観察研究

[研究対象者]

血液疾患があり2006年1月から 2018年 12月までの間に「造血細胞移植および細胞治療の全国調査（研究責任診療科：血液内科、研究責任者：瀬尾幸子）」に同意し同種移植を受けた患者さん。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、疾患名、手術名、前治療歴、併存合併症の有無、血液生化学検査、骨髓検査、髄液検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用 等

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

同種造血幹細胞移植の適応を検討する際に、移植前の全身状態と併存症の評価をすることは造血幹細胞移植の後の経過の予測に重要です。これらをスコア化したHematopoietic cell transplantation-specific comorbidity index は移植前評価として広く用いられ、その中でも膠原病は重要な項目の一つですが、本邦における膠原病合併患者の血液疾患に対する同種移植の予後についてはまとまった報告はありません。

本研究では、膠原病をもつ血液疾患患者に対する同種移植成績を検討し、膠原病非合併群と比較し予後および、生着、GVHD、感染症、晩期合併症などの頻度に及ぼす影響を評価します。膠原病合併患者の同種移植において注意すべき合併症を明らかにし、前処置等の予後に関与する因子を解析することで、膠原病合併患者に対する適切な移植戦略を知り移植後の非再発死亡の減少に寄与することを目的としています。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 自治医大さいたま医療センター血液科 仲宗根 秀樹（教授）,木村 俊一(准教授)
2. 防衛医科大学血液科 小林 真一（講師）

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2030年4月30日までの間（予定）

-----

-

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 血液内科 准講師 田中紀奈

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 血液内科 准講師 田中紀奈

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）